

北 九 州 市 要 望 事 項

要 望 項 目	要 望 の 要 旨
<p>1 地方創生の推進</p>	<p>本市におきましては、平成27年10月に「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。その後、産官学金労言住のオール北九州で構成する組織で、主体的かつ積極的な取組を行っていく行動宣言を採択するなど地方創生の実現に向け地域一体となり取り組んでいるところで</p> <p>す。</p> <p>こうした中、国におきまして地方創生推進交付金が創設され、今年度からの総合戦略の本格的な推進に向けて、先駆的な取組等を後押ししていただく仕組みがつくられました。</p> <p>そこで、本市では、県境を越えた下関市や、連携中枢都市圏「北九州都市圏域」を形成している近隣16市町と連携して、新たな観光振興事業等を実施するための地域再生計画及び地方創生推進交付金に係る実施計画を提出し、8月30日に計画が認定され、交付が決定されました。</p> <p>こうした取組を推進することにより、2つの圏域間連携という新たな枠組みを構築し、相乗効果での魅力向上を図ることで、国内のみならずインバウンドの観光客なども本地域に引き込み、18市町連携による地方創生を実現するものです。そして、国が掲げる訪日外国人旅行者数の増加に向けて、本地域も貢献してまいります。また、事業につきましては毎年度見直し、さらなる充実を図っていく予定です。</p> <p>また、未来への投資につながる先導的な施設整備等を支援する地方創生拠点整備交付金も国の平成28年度第二次補正予算に盛り込まれました。これまでのソフト事業のみならず施設整備等の事業においても地方創生を効果的に進めることができることから、自治体として使用しやすい運用ができるようお願いします。</p> <p>本市は、地方創生の成功モデル都市を目指し、また我が国のフロントランナーとして汗をかき、日本成長のエンジンの一つとなれるよう、力を尽くしていく所存です。</p> <p>つきましては、本市の地方創生を加速させるため、地方創生推進交付金、地方創生拠点整備交付金などの財政支援や、地域再生計画で位置づけたものが着実に実施できるようご支援いただくよう要望します。</p>

北九州市の地方創生の基本方針

女性と若者の定着などにより
社会動態をプラスにしていき、地方創生の
「成功モデル都市」を目指す

基本目標

しごと

●しごとの創出



ひと

●新しい人の流れをつくる



●若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる



まち

●時代に合った魅力的な都市をつくる



2020年の北九州市～地方創生のモデル都市の形成期～

しごと



- ◆付加価値の高いものづくりへのシフト
- ◆環境・エネルギー分野の進展
- ◆アジアとのネットワークの強化

ものづくり、環境など本市の強みを活かすとともに、
新たな都市の課題に挑戦するまちへ

- ロボット、自動車、航空産業の振興策による付加価値の高いものづくりへのシフト
- 多様なエネルギー産業が立地しはじめ、安定・安価・クリーンなエネルギー供給拠点として貢献
- アジアへのインフラ輸出により新たな仕事呼び込まれる
- 北九州空港の利用者、航空貨物取扱量の増加
- 若年層のベンチャー企業の創業が盛んになり、若者からの評価が向上
- 市内企業と学生のコミュニケーションが形成され、地元就職が進む

ひと



- ◆人口減少のスピード緩和
- ◆交流人口の増加
- ◆女性の活躍

首都圏や市外の人々が本市の魅力に触れ、
持続可能で豊かな暮らしを実感できるまちへ

- 社会動態がプラスに転じ始め、出生率の高さ及び子育て環境の良さを背景に人口減少が緩やかになる
- 北九州市出身者のU・Iターン就職者の増加
- 首都圏からの本社機能移転等により雇用が増加
- 観光資源の掘り起こしなどにより交流人口が増加し、サービス産業が発展
- 女性活躍施策の充実により女性が望む形で能力を発揮

まち



- ◆安全安心なまち
- ◆文化・芸術のまち
- ◆都市と自然が調和したまち

若者・女性・アクティブシニアが活躍し、
明るい笑い声に包まれる活気あふれるまちへ

- 刑法犯罪件数減少により、首都圏でのイメージギャップが解消され、安全安心なまちの認識が進む
- 「映画の街・北九州」のイメージが確立、文化・芸術の街として世界に発信される
- 都市のコンパクト化、リノベーション等により機能性と趣きのあるまちへ
- 海峡都市圏を形成しはじめ、福岡県北東部地域との連携強化、東九州自動車道など交通ネットワークも充実
- 北九州市の誇れる資源の積極的なPRによるシビックプライドをもった市民の増加

要 望 項 目	要 望 の 要 旨
<p>2 国家戦略特区（介護ロボットの実証実装）の推進への支援</p>	<p>北九州市は「高齢者の活躍や介護サービスの充実による人口減少・高齢化社会への対応」をテーマに国家戦略特区に指定されました。</p> <p>今後、本市では、ロボットテクノロジー等の先進的技術を活用し、身心の負担の軽減や介護現場の働き方を変えていくという「先進的介護」のあり方を示して、国の介護保険制度へ反映させることを目指します。</p> <p>本年6月には国の「ニッポン一億総活躍プラン」や「日本再興戦略2016」が閣議決定され、「介護離職ゼロ」対策の一つとして、労働負担軽減のために介護ロボット等の活用を推進することや、ロボット等の導入による介護現場の生産性向上に向けた実証を通じて、介護報酬や人員配置・施設の基準の見直し等を検討することなどが盛り込まれました。</p> <p>これはまさに本市が特区で取り組む「先進的介護」の実証プロジェクトと方向性を同じくするものであるため、国のプランを積極的にリードするとともに、本市の実証の成果が国の介護保険制度の改正に貢献できるよう取り組んでまいります。また、地域産業の振興に寄与させるため、介護分野のロボット産業の集積を図り、わが国の介護ロボットを牽引する地域を目指していきます。</p> <p>つきましては、介護ロボット等のロボットテクノロジーを活用した研究開発・実証・導入プロジェクトへの財政支援措置の拡大と、さらなる規制改革の推進、並びに、特区事業による所得控除の対象分野を「介護ロボットの研究開発及び製造」分野にまで拡大されるようお願いいたします。</p>

北九州市の国家戦略特区のテーマ

平成27年12月15日 国家戦略特区諮問会議資料

北九州市 高齢者の活躍や介護サービスの充実による人口減少・高齢化社会への対応



介護ロボット等を活用した「先進的介護」の実証実装 事業概要

<課題>

- ・少子高齢化、生産年齢人口減少により、介護従事者が不足
- ・過酷な労働環境、処遇状況による介護従事者の高い離職率

<目的>

- ・介護ロボットの導入による作業効率化と介護の質向上
- ・介護従事者の負担軽減による労働環境の改善、及び高齢者等の新たな雇用機会拡大
- ・介護ロボットの市場拡大によるロボット産業の振興

実証

介護ロボット特区ワーキンググループ会議

マネジメント

<作業分析>

- ・機械的作業分析
- ・人的作業分析
- ・分析結果の検証（見える化）

<施設実証>

- ・ロボットの導入実証
- ・ロボットと身体的負担とのマッチング評価
- ・プロジェクトマネジメント

<評価>

- ・社会実装の新運営基準（ガイドライン）検討
- ・ロボットの定量評価手法、評価基準の確立

社会実装

市条例改正

新運営基準の効果検証

新運営基準 新運営基準に基づく社会実装によって質の高いサービスと介護職員の負担軽減が図られるかを検証

開発

共同生活室

- ・食事支援
- ・レクリエーション（コミュニケーション）
- ・移動

介護・リハビリ

- ・移乗、移動
- ・排泄、入浴
- ・リハビリ

施設効率化

- ・記録自動化
- ・認知症見守り
- ・分析手法

スマートワークスペース

- ・作業内容推定（動作予測）
- ・疲労、労災の回避

導入

福祉用具プラザ 北九州

- ・介護ロボットの普及、啓発
- ・既存ロボットの展示、レンタル

北九州市介護ロボット導入補助

- ・介護ロボットを導入する個人、介護施設に対し購入費等を補助

介護ロボット等導入支援特別事業

- ・介護ロボットを導入する介護施設に対し購入費を補助

産・学・官の連携により「先進的介護」の拠点を北九州市に形成